

令和元年度 上伊那圏地域自立支援協議会議事録

会 議	名称	第1回 権利擁護委員会	参 加 者 数	人	会 場	伊那市福祉まちづくりセンター 2F 研修室
	日時	令和元年 7月 25日 (木) 13:30 ~ 15:30				
主 題 マ	1 再犯防止推進ネットワーク事業と連携して研修会開催 2 事例検討 3					
主 な 意 見 な ど	1, 開会 2, 部会長挨拶(伊那市社協成年後見支援センター・矢澤所長) 昨年度に引き続き、フラップネットの方に来て頂き、研修を行なうことになった。なかなかない機会だと思われるので、積極的な参加をお願いできればと思う。今日は宜しくお願いします。 3, 事業説明 (※資料参照) (1) 県の再犯防止推進計画について ・検挙者数は減少しているが、再犯率は上昇している。 ・H29.12 再犯防止推進計画の策定 今後、5年間で政府が取り組む再犯防止に関する施策を盛り込んだ計画が出される。 ・長野県総合5か年計画『幸せ信州創造プラン2.0』 “誰にでも居場所と出番がある県づくり”が提唱される。 →主な施策 『犯罪や非行をした者に対する生活相談支援等、再犯防止に向けた取組みを推進する。』 ・保護観察中の少年に対する雇用…県の機関で事務補助職員として雇用。自立更生、社会復帰の第一歩をサポート。 (2) 地域生活定着促進事業及び再犯防止推進ネットワーク事業(フラップネット)について (※資料参照) 長野県社会福祉士会 支援員・水沢哲人様 ●レジュメを用いながら、司法と福祉の連携を中心に話がある。 フラップネットができること… ① 他機関との連携が取りやすい→業務の負担軽減に繋がる。 ② 自機関の業務内容を周知できる。 ③ 実務能力を磨ける →講師を招いての研修会がある。 ④ よりよい支援で再犯防止の一助を担える。 4, 講演 (※資料参照) 弁護士法人『このまち駒ヶ根支所 青木法律事務所』 弁護士・及川裕貴様 演題:『更生支援・再犯防止 ～刑事弁護人としての立場から～』 ①刑事手続きの流れ ②刑事弁護人の役割及び活動 ③更生支援の必要性と目的 ④人口支援における連携の必要性 ⑤刑事責任との関係…の説明の後に具体的に事例2例を用いながら説明がある。 5, 事例検討 ・参加者が自己紹介しながら、事前に提出された困難事例等の対応方法を検討する。 6, 事務連絡 7, 閉会					
ま と め	昨年度に引き続き触法行為に及んだ方々への支援体制の現状等を研修や講演にて学ぶ機会となった。再犯しない為に必要な周囲(地域)の協力や環境因子の重要性等を改めて知ることができた。					
次 回	令和元年11月25日(月) 13:30～ 伊那市福祉まちづくりセンターにて (記録者)					